

課題名	12 大ヨークシャー種系統豚の組合せ検定	分類	①																							
	三元雑種 (W L · D) 肉豚の産肉性及び肉質																									
試験研究年次	60 ~ 2年 (繰上げ完了)																									
<p>I 目的 当場で系統造成中の大ヨークシャー種 (雌系) を利用した最適な系統間組合せについて産肉性及び肉質の面から検討し、高品質銘柄豚を作出する。</p>																										
<p>II 試験方法</p> <p>1 供試豚 下表に示す交配組合せにより生産された三元雑種肉豚、各区6頭 (雌3頭、去勢3頭)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">一代雑種種雌豚</th> <th rowspan="2">種雄豚</th> </tr> <tr> <th>大ヨークシャー (W♀)</th> <th>× ランドレース (L♂)</th> <th>×</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハマユ-系</td> <td>当場第3世代豚</td> <td>宮崎県系統ハマユ- L</td> <td>デュロック (D)</td> </tr> <tr> <td>クマト系</td> <td>"</td> <td>熊本県系統第5世代豚</td> <td>サクラ201系</td> </tr> <tr> <td>イト系</td> <td>"</td> <td>東京都系統エド</td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アキヨシ系</td> <td>"</td> <td>山口県系統アキヨシ L</td> <td>"</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 試験期間 2年10月 ~ 3年3月 (生体重30kg ~ 105kg)。 3 飼養管理 雌・去勢豚別飼いとし、1豚房6頭を群飼、豚産肉能力検 定飼料を不断給餌。 4 調査項目 発育性、と体成績、肉質</p>				区分	一代雑種種雌豚		種雄豚	大ヨークシャー (W♀)	× ランドレース (L♂)	×	ハマユ-系	当場第3世代豚	宮崎県系統ハマユ- L	デュロック (D)	クマト系	"	熊本県系統第5世代豚	サクラ201系	イト系	"	東京都系統エド	"	アキヨシ系	"	山口県系統アキヨシ L	"
区分	一代雑種種雌豚		種雄豚																							
	大ヨークシャー (W♀)	× ランドレース (L♂)		×																						
ハマユ-系	当場第3世代豚	宮崎県系統ハマユ- L	デュロック (D)																							
クマト系	"	熊本県系統第5世代豚	サクラ201系																							
イト系	"	東京都系統エド	"																							
アキヨシ系	"	山口県系統アキヨシ L	"																							
<p>III 主要成果の概要</p> <p>当場の大ヨークシャー種雌系統に交配するランドレース種雄系統として三元雑種の産肉性及び肉質等の面から総合的に判断すると東京都系統のエドが最も適している。</p> <p>1 発育性 全試験期間の1日増体量は、エド系が6頭平均で731gと他の組合せに比べ約100g良好である。また、雌に比べて去勢の方が発育性に優れ、雌は前期に、去勢は後期に良く発育する傾向にある。</p> <p>2 と体成績 エド系は、と体長が長く、と体幅も広く、ロ-ス断面積も良好でありハマユ-系及びクマト系はと体長が短い。アキヨシ系は1日増体量が劣るが、背脂肪が薄く、ロ-ス断面積が大きい。</p> <p>3 肉質 エド系は保水性及び伸展率が高い傾向を示し、加工適性に優れている。ハマユ-系は肉色が濃く、クマト系は肉色が薄い傾向にある。アキヨシ系は保水性及び伸展率が低い。</p>																										

IV 主要成果の具体的データ

第1表 1日増体量 (g)

区分	全期間 (体重30kg~105kg)			前期 (体重30kg~70kg)		後期 (体重70kg~105kg)	
	全体	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢
ハマ系	633	561	706	669	721	480	697
クマ系	638	565	712	579	703	550	724
イト系	731	646	818	656	791	635	854
アキ系	612	584	640	619	606	549	697

第2表 と体成績

区分	と体長	背腰長 II	と体幅	背脂肪 厚	ハム 割合	ロース 断面積
	cm	cm	cm	cm	%	cm ²
ハマ系	93.6	67.4	36.0	2.7	33.5	26.5
クマ系	93.6	67.8	34.9	2.7	34.1	25.8
イト系	95.8	69.4	35.6	2.8	33.5	28.4
アキ系	94.2	68.6	34.8	2.6	34.0	29.2

注) ①背脂肪厚は肩・背・腰の3部位平均。
②ロース断面積は胸椎5-6間。

第3表 肉質

区分	肉色(切断直後)				水分 含量	加圧 保水性	伸展率	脂肪融点 腎
	肉色模型	明度	赤色度	黄色度				
					%	%	cm ² /g	℃
ハマ系	3.7	50.2	8.7	4.6	73.4	80.8	20.2	42.0
クマ系	2.9	56.4	7.6	6.7	73.3	78.3	19.1	42.3
イト系	3.1	51.8	7.3	4.4	73.1	81.1	19.9	40.7
アキ系	3.2	50.7	7.6	4.4	73.7	78.2	18.7	42.2

V 成果の評価と取扱上の留意点

- 1 県産銘柄豚作出に有効な情報である。
- 2 エド系の去勢豚は発育が良いので、後期の飼料給与は制限して脂肪の蓄積を抑える必要がある。

VI 今後の研究上の問題点

- 1 食味の検討
- 2 銘柄豚の効率的飼料給与水準の検討

VII 資料名

2年度 福岡県農業総合試験場畜産研究所試験研究成績書